

令和3年11月29日

令和2年度  
公益財団法人おきぎんふるさと振興基金  
実施報告書

1. 認証者：山内 昌也（沖縄県立芸術大学 教授）
2. 認証タイトル：『琉球伝統芸能の美』＋『音楽×舞×空間』＝『高貴な“うとういむち”』
3. 実施期間：令和2年7月～令和3年3月

#### 実施詳細

一般社団法人琉球伝統芸能デザイン研究室及び沖縄県立芸術大学音楽学部琉球芸能専攻学生有志に協力を仰ぎ、琉球古典音楽1名×琉球古典舞踊1名(女踊)による、小空間・少人数による企画を実施した。

なお、この取り組みは、令和2年度「グッドデザイン賞」を受賞することができた。

#### 上演詳細

- |            |                      |                     |
|------------|----------------------|---------------------|
| 令和2年8月20日  | 「琉球の美」琉球伝統芸能鑑賞会      | (場所) 琉球料理 美榮        |
| 令和2年9月12日  | 「琉球の美」琉球伝統芸能鑑賞会      | (場所) 世界遺産 識名園       |
| 令和2年10月17日 | 「琉球の美」琉球伝統芸能鑑賞会      | (場所) 世界遺産 識名園       |
| 令和2年10月17日 | 「琉球の美」グッドデザイン賞受賞鑑賞会  | (場所) 琉球料理 美榮        |
| 令和2年12月5日  | 「琉球の美」琉球伝統芸能鑑賞会      | (場所) 世界遺産 識名園       |
| 令和2年12月26日 | 「琉球の美」グッドデザイン賞受賞記念公演 | (場所) 万国津梁館 サンセットホール |
| 令和3年1月3日   | 「琉球の美」琉球伝統芸能鑑賞会      | (場所) 世界遺産 識名園       |
| 令和3年2月6日   | 「琉球の美」琉球伝統芸能鑑賞会      | (場所) 世界遺産 識名園       |
| 令和3年3月13日  | 「琉球の美」琉球伝統芸能鑑賞会      | (場所) 琉球料理 美榮        |

#### 添付資料

- 令和2年12月26日 「琉球の美」グッドデザイン賞受賞記念公演 チラシ・プログラム

#### 備考

企画の自走化に向けて、一般社団法人琉球伝統芸能デザイン研究室との共同により、持続可能な開発目標を定める。

また、次世代への伝承として琉球伝統芸能の実演家(女性の活躍＝特に三線奏者)の輩出を視野に入れた人材育成を行う。



 GOOD DESIGN AWARD  
2020年度受賞

琉球伝統芸能デザイン 琉球古典音楽 1名×琉球古典舞踊 1名によるパフォーマンス  
この取り組みは、『2020年度グッドデザイン賞』を受賞いたしました

# 琉球の美

琉球伝統芸能鑑賞会

琉球伝統芸能の新しいカタチとデザイン・・・琉球伝統芸能の古典女踊と琉球古典音楽にフォーカスして、伝統芸能の存在意義を問うべく日常のさまざまな空間での鑑賞を提供しています。琉球王国時代には首里城を中心とした「踊奉行」が置かれ、中国や薩摩からの使者をもてなすための古典芸能が披露されていました。また江戸上りの際、薩摩や江戸屋敷の中に限られた空間を設け、近距離で古典芸能が披露されていたという記録も残されています。劇場の額縁舞台型の空間ではない、古来のスタイルを踏襲した「伝統芸能と空間の“美”」についての追究を行っており、伝統芸能の真髄に迫る極限の編成（古典女踊舞手 1×歌三線 1）によるパフォーマンスを披露いたします。また紅型・房指輪等の小道具なども舞と併せて近距離でご鑑賞いただきながら、レクチャーを行います。琉球王国時代の美意識と哲学を、ぜひ身近に感じていただければ・・・。琉球の美=音×舞×空間。

日 時：2020年12月26日(日) 13:30 開場 14:00 開演 15:30 終演予定

場 所：万国津梁館 サンセットラウンジ (沖縄県名護市喜瀬 1792 番地)

料 金：¥3,500 (限定40名) (\*グッドデザイン賞受賞記念価格)

琉球古典音楽独唱『稲まづん節』

琉球古典舞踊『柳』

琉球古典舞踊『伊野波節』

琉球古典舞踊『諸屯』

(演目は変更する場合がありますので予めご了承ください)

出 演

舞 西村 綾織(Nishimura Ayano) 玉城流喜納喜利の会師範  
舞 永山玲緒奈(Nagayama Leona) 柳清本流和華の会師範  
舞 又吉 聖子(Matayoshi Satoko) 玉城流いずみ会師範

歌三線 山内 昌也(Yamauchi Masaya)

琉球古典音楽湛水流師範／琉球古典音楽野村流音楽協会師範  
沖縄県指定無形文化財「沖縄伝統音楽湛水流」保持者

歌三線 内間 安希(Uchima Yasuki) 琉球古典音楽野村流音楽協会師範

主 催：一般社団法人琉球伝統芸能デザイン研究室

共 催：万国津梁館

企 画：沖縄県立芸術大学山内昌也研究室

助 成：公益財団法人おきぎんふるさと振興基金

問合せ：一般社団法人琉球伝統芸能デザイン研究室ホームページ

おきぎんふるさと振興基金



琉球伝統芸能デザイン研究室 HP

## 別紙（プログラム）

### ごあいさつ

本日はご来場いただきありがとうございます。

一般社団法人琉球伝統芸能デザイン研究室®は、2019年4月19日に設立いたしました。

『琉球伝統芸能の新しいカタチとデザイン』をコンセプトに、御茶屋御殿を始めとする首里界隈の御屋敷内で執り行われていた「小人数」「小空間」による上質な琉球伝統芸能の表現活動を行っております。

高貴なうとういむち(おもてなし)

踊奉行の理念を追求すると共に、琉球伝統芸能の内、「琉球古典音楽」と「琉球古典舞踊女踊」にこだわり、現代そして次世代へ「芸術」として伝承することができればと考えております。

一般社団法人琉球伝統芸能デザイン研究室  
代表理事 山内 昌也（沖縄県立芸術大学教授）

### 琉球古典舞踊「天 川」（あまかー）

「愛」を超越した純粋な「ココロ」の繋がり。  
「ヒト」だけでなく全ての生命に精通しているものである。

### 琉球古典舞踊「柳」（やなじ）

柳は緑。花は紅。人はただ情け。梅は匂い。  
「ただ」こそ美しいものはない。「無」の境地である。

### 琉球古典舞踊「諸 屯」（しょどん）

愛しい方と枕を共にし・・・と思ったら夢であった。  
夢から覚めた瞬間、まだまだ寒い冬夜・・・切なさが身に染みる。

### グッドデザイン賞 受賞概要

かつて琉球王国時代に首里城を始めとする上質な空間で上演されていた宮廷芸能の内、琉球古典音楽(歌三線)1名と琉球古典舞踊(女踊)1名の『1×1』に焦点をあて、高貴な「うとういむち」(おもてなし)を再現。劇場等では味わうことのできない「小人数」「小空間」「特別感」を間近で体感。

### 審査員評価

伝統芸能は地域や民族のアイデンティティを形成するひとつであるが、保存継承という点で大きな課題を抱えている。人材不足・後継者育成に対しても解決策が見つかりにくい中、この取り組みの体験する側の視点を持って一歩踏み出した点を評価した。小空間で、音楽奏者と踊り手のみによりもてなされる、この特別で上質な時間をいつか体験してみたい。

舞

天 川 西 村 綾 織 玉城流喜納喜利の会師範

柳 永 山 玲 緒 奈 柳清本流和華の会師範

諸 屯 又 吉 聖 子 玉城流いずみ会師範

歌三線

山 内 昌 也 琉球古典舞踊野村流音楽協会・琉球古典音楽湛水流保存会師範

沖縄県指定無形文化財「沖縄伝統音楽湛水流」保持者

内 間 安 希 琉球古典音楽野村流音楽協会師範

# 琉球の美

琉球伝統芸能デザイン

2020年12月26日（土）万国津梁館

一般社団法人琉球伝統芸能デザイン研究室：主催  
万国津梁館：共催  
沖縄県立芸術大学山内昌也研究室：企画

